

令和8年度 学力向上を図るための全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
東京都教育委員会 教育目標
練馬区教育委員会 教育目標等

学校教育目標
○思いやりの心を持つ人
○自ら学び、考え行動できる人
○心も体もたくましい人

学校、地域の実態と地域の願い
・学校は落ち着いて学習できる環境にある。
・地域の人々は学校教育に協力的である。
・地域の子として健やかな成長を願っている。

保護者の願いや期待
・基礎的・基本的な学力を身に付けるとともに個性を磨きながら生きていってほしい。

期待される生徒像
・自他を尊重する精神を育み、将来の夢や目標を持ち、その達成のために意欲的に学べる生徒

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ・将来の夢や目標をもち、その達成のために意欲的に学ぶ生徒を育成する。
- ・基礎・基本の学習内容を確実に身に付けそれを生かす生徒を育成する。
- ・課題を発見し、解決していける力を身に付けようとする生徒を育成する
- ・地域未来塾に外部人材を活用し、基本的な学習習慣の定着を支援する。
- ・小中一貫教育の研究授業、授業アンケート、学力調査を基に授業改善を図る。
- ・家庭・地域と連携し、学校外の教育力を積極的に活用する。

各教科の指導の重点

【国語】 単元学習を通して、読む力・書く力の育成を図るとともに、人間としての生き方について考えさせる。

【社会】 社会的な見方・考え方を働かせて、社会の形成者として必要な資質・能力を養う。

【数学】 習熟度別少人数指導を実施し、根気強く筋道を立てて問題解決に取り組む態度を養う。

【理科】 自然と人間との関係について理解を深め、実験を多く取り入れ、科学的な思考力や考え方を養う。

【音楽】 表現や鑑賞を通して豊かな情操や生きることへの喜びを育てる。

【美術】 作品の制作や鑑賞を通して美に感動する心を養う。

【保健体育】 運動を通して心身の健康や集団生活に必要な態度を養う。

【技術・家庭】 体験的学習を通して生活の充実を図る実践的態度を育成する。

【英語】 習熟度別少人数指導において、個に応じた学習過程を大切に、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。

本校における「確かな学力」
学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、将来に向かってたくましく生きる力を身に付けさせるため、以下のものを育成する。

- ◎思考力・判断力・表現力
- ◎全教科における言語活動の能力
- ◎自己理解力と自己の能力を向上させる意欲
- ◎積極的に課題を解決しようとする力
- ◎共に学ぼうとする心
- ◎社会に貢献しようとする精神

総合的な学習の時間の指導の重点

- 「生き方を学ぶ」を主題として生きる知恵と力を身に付けさせる。
- 社会や他者との関わりに関する取組を行い、人間関係力の育成を図る。
- 家庭、地域社会と連携する。

道徳教育の指導の重点

- 道徳教育推進教師を中心に生徒に豊かな心を涵養していくために全教育活動を通して道徳教育を進める。
- セーフティ教室を実施する。
- 「いのちの講演会」を実施する。

特別活動の指導の重点

- 学校行事を充実させる。
- 生徒の主体性を育成する。
- 自主的に活動し、自らの力で課題を解決していく力を養う。

キャリア教育指導の重点

- 生徒の個性や可能性を認め、生徒が将来に対して夢と希望がもてる進路指導を保護者と連携しながら推進する。
- 生徒が進路について段階的に考えていけるように指導する。
- 総合的な学習の時間と関連付けて指導する。

生徒指導の重点

- 思いやりの心をもった生徒を育成し、いじめをせず、自他を尊重する心を育む。
- 教育相談を充実し生徒の心のケアを図る。
- PTA・関係機関との連携に努める。
- 奉仕活動に取り組む精神を涵養する。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫

- 学習に対する興味・関心を引き出すために体験的・作業的学習やICTの活用を多く取り入れる。
- 授業開始時に、本時の学習のねらいを伝え授業終了時に振り返りを行う「石東中ベーシックメソッド」を意識した授業を行う。
- 単元ごとの授業の振り返りを行い、今後活かす授業改善を図る。

教育課程編成上の工夫

- 「石東タイム」と称し、始業前に読書活動を全校で行う。
- 授業の学習過程への配慮や工夫を基に全教科において基礎・基本の習得・定着に努める。
- 夏季休業日や年間を通して、地域未来塾を実施する。

校内における研究や研修の工夫

- 小中一貫教育の研究を推進し、小中合同の研修会により、9年間を見通した指導を図る。
- 単元ごとの授業の振り返りから現状を把握し、授業改善に生かす。
- 研究授業を積極的に実施し、教員の資質・能力の向上を図る。
- 「石東中ベーシックメソッド」の活用のために、研修の機会を設ける。

評価活動の工夫

- 授業開始時に、本時のめあて、目標を生徒に伝える。
- 学校評議員、全保護者を対象に授業に関する評価アンケートを実施し、授業改善に生かす。

家庭や地域社会との連携の工夫

- 学校だよりおよびホームページ等で公開する。
- 道徳授業地区公開講座等において、地域・保護者に道徳の授業を公開する。
- 給食試食会の開催など、家庭と連携し、食育を推進する。
- 「学校2020レガシー」の構築に向けて、講師を招いて講演会を実施する。